

2017年5月に任意団体としてスタートした「旭くん光のプロジェクト」は、2019年5月に一般社団法人として新たに発足いたしました。それを記念して、シリーズとして主催していく定期演奏会のタイトルを音楽用語の“a piacere” にちなんで「ピアチェーレ」と銘打つことに致しました。

“a piacere”は『自由に』という意味があり、ピアチェーレは『喜び、楽しみ』という意味のイタリア語でもあります。この音楽会が、そんな思いを実現する場でありたいと企画しています。

今回は、副題として「明日への希望」というテーマを置きました。

2020年のコロナ渦の影響で、光のプロジェクトの活動も縮小せざるを得ない状況でしたが、やっと回復の兆しとなり、音楽会を再開する運びとなりました。

そんな思いから、新たな希望を胸に数々の美しい音楽とともにエールを送る秋の一夜としたいと思えます。

一般社団法人 旭くん光のプロジェクトピアチェーレ音楽会 事務局

加藤 旭 プロフィール

1999年滋賀県生まれ、神奈川に育つ。幼少期よりピアノに親しみ、4歳の頃から独学で作曲をスタート。作品数は生涯で約500曲にのぼり、東京交響楽団「こども定期演奏会」テーマ曲に作品が2度選ばれました。

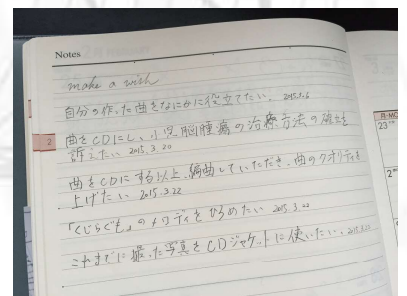
栄光学園中学校に在学中、2年生で脳腫瘍が見つかり、5度の手術。闘病中、「多くの方に支えられている。

自分も役に立てれば」と曲のCD化を決意。

幼いころのピアノ作品27曲を集めた「光のこうしん」が完成すると、自然の姿をそのまま音にしたような純粋なメロディが反響をよびました。

高1で視力を失い、歩けなくなる中、「誰かの心に届く音楽を」と作曲を再開。曲を作り続け、2ndアルバム完成の翌日2016年5月20日、自作のピアノ曲「船旅」を聴きながら旅立ちました。

彼の思いは、今日も多くの人の願いにつながっています。



加藤旭 CDのご紹介

『光のこうしん』



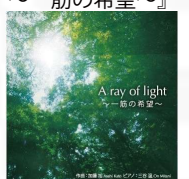
5歳から10歳の時に作曲した27作品

『光のみずうみ』



16歳で作曲のピアノ曲「船旅」他、弦楽やオーケストラ曲も収録

『A ray of light
～一筋の希望～』



失明の苦悩から希望へと展開するタイトル曲を含む待望の第3弾。

一般社団法人 旭くん光のプロジェクトについて

闘病中も作曲を続けた旭くんの、音楽や生きる力を伝えるプロジェクト。演奏会や講演会、青少年の教育推進に関わる事業、小児医療の啓発や支援活動などを行っています。

詳しくは、右記 QR コードより、HPをご覧ください。

<https://www.asahi-hikari-pj.com/>

FaceBookもあります。



CDのお求めは、右記のQRコードでアクセスいただき旭くん光のプロジェクト公式ECサイトにて販売しております。

